

コラム

火山マイスターの役割

「減災教育」と「火山を楽しむ達人」

災害への対策を表す言葉に“防災”と“減災”^{げんさい}があります。従来は「災害を防ぐ」と書く“防災”が使われていましたが、最近では「災害から被害を減らす」という意味の“減災”という言葉が使われるようになってきました。これは、人の力で防ぐことが難しい自然現象に対し、被害を減らす行動が大切という考え方で、その知恵を学ぶための教育を「減災教育」と言います。

火山の噴火が人の生活に影響を及ぼすと「災害」と呼ばれてしまっていますが、本来、噴火自体は悪者ではありません。火山の近くでは、山を楽しみながら、自然現象としての噴火をよく理解し、噴火時にはきちんと行動（避難）できる地域づくりが大切です。洞爺湖有珠火山マイスターは「減災教育」と「火山（ジオパーク）の楽しみ方」を伝える、住民の減災リーダーとして活動しています。火山は普段、私たちに多くの恵みを与えてくれます。洞爺湖や有珠山周辺の風景は、その多くが火山が作り出したもので、温泉もマグマの影響を受けた地下水を使ったものです。この地域で採れる多くの農産物や海産物も、火山と関係した物語を持っています。減災教育の普及と同時に、これらの「火山がもたらした恵み」の楽しみ方を、多くの人に伝える「洞爺湖有珠山ジオパークの“達人”」としての役割も、火山マイスターは担っています。



抽選で当たる！

洞爺湖町 オリジナルエコバックで「大地の物語」をPR！

洞爺湖周辺の実り豊かな大地をもっと宣伝したい！という思いから生まれた洞爺湖町オリジナルエコバック「大地のポケット」に、新たに3つの図柄が加わりました。国の地方創生加速化交付金事業の採択を受けて実現したもので、山陰海岸ジオパークである兵庫県豊岡市の鞆専門店で作られたバックです。

このオリジナルエコバック（3種類のいずれか1枚）を平成29年12月まで、**毎月抽選で6人の方**にプレゼントします。ぜひ、このバックを持ち歩いて「世界ジオパークの町」の宣伝役になってください！

希望する方は、はがきかファクス、もしくはEメールで、下記内容をご記入のうえご応募ください。

11月分の締切は11月29日の消印まで有効です。当選は発送をもってかえさせていただきます。

※一度当選された方は対象となりませんのでご注意ください。



バックの図柄は絵本『11万年のうえの一日』から「小幌海岸」「リンゴ畑」「洞爺湖温泉」の3種類。※図柄の指定はできません

前回のジオクイズの答え：「恐山」でした！

1. 応募者の名前
2. 連絡先電話番号
3. 届け先の住所（洞爺湖町内に限ります）
4. ジオクイズの答え

<ジオクイズ>

下の文の〇〇にあてはまる言葉は何でしょう？

「洞爺湖有珠火山マイスターは住民の〇〇リーダー」

※答えはこのジオパーク通信内にあります。よ〜く読んで答えてね。

～ 応募先 ～ 〒 049-5692

洞爺湖町栄町 58 番地 洞爺湖町役場ジオパーク推進課

※ファクスは Fax 76-4727 まで

※Eメールは info@toya-usu-geopark.org まで